（建築・設備設計のサンプル)

職 務 経 歴 書

20xx年xx月xx日現在

氏名　○○ ○○

■職務要約

株式会社○○○○○に入社後、現場係員として約x年間○○オフィスビル建設工事を担当し、施工の基礎を身につけたあと、設備設計として本社オフィスビルや大学、市役所といった公共施設の設計に携わってきました。現在は、初期段階の発注者へのヒアリングから携わり、意匠設計や構造設計だけでなく施工管理の担当とも調整して設計し、現場での施工と設計図を比較しながら、適切な工事が進められているかの確認も行っています。

■活かせる経験・知識・技術

・○○大学で環境システム学を専攻し、施設や住宅のシステムの問題解決について学ぶ

・オフィスや大学、公共施設などの設計を幅広く経験

・CADを利用した設計図の作成

■職務経歴

|  |
| --- |
| 20xx年xx月～現在　　株式会社○○○○○ |
| 事業内容：建設事業資本金：x千万円（20xx年xx月）　売上高：x億x千万円（20xx年xx月）従業員数：x,xxx人　上場：東証一部上場 | 正社員として勤務 |
| 20xx年xx月～現在 ／ ○○本社ビル設備設計 | 規模／役割 |
| 【業務概要】空調設備の効率運転のために、節電できるように設計。計画段階でシミュレーションを立てるなど、ビルが稼働してからの管理コストを抑えられるように徹底しました。【業務内容】・ヒアリング、社内外との打ち合わせ・基本設計、実施設計・工事監理【工事規模・構造】敷地面積x,xxx㎡、延床面積 x,xxx㎡地下RC造、地上S造、xx建て【実績・取り組み】・意匠設計や構造設計との密な調整により当初の予定以上の省エネ設計を実現しました。 | 全xx名設備設計 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○○市役所の空調設備設計 | 規模／役割 |
| 【業務概要】新しく全面改修する○○○市役所の空調設備設計業務の主担当として設計。低コストでの設備実施のため、特に現場での施工管理と調整に尽力しました。【業務内容】・社内外との打ち合わせ・基本設計、実施設計・工事監理、施工管理との調整【工事規模・構造】敷地面積x,xxx㎡、延床面積 x,xxx㎡地下RC造、地上S造、xx建て【実績・取り組み】・公共施設なので災害対策や安全維持に配慮。構造設計担当者と協力しながら、予算内で快適さと安全を予算内で両立できる設計を行いました。 | 全x名設備設計 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○大学の電気、空調設備改修設計 | 規模／役割 |
| 【業務概要】空調設備改修では、デザインにこだわった構造に合わせた設備を設計。【業務内容】・基本設計、見積もり設計・実施設計・工事監理、施工管理との調整【工事規模・構造】敷地面積x,xxx㎡、延床面積 x,xxx㎡S造、xx建て【実績・取り組み】・環境にもやさしい設備というニーズに応えるため、外気冷房といった省エネルギーな空調を取り入れて、維持管理費用の削減に貢献しました。 | 全xx名設備設計 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○マンションの配管空調設備 | 規模／役割 |
| 【業務概要】保温に優れた配管を使用し、熱損失を防ぐことで空調設備の性能を向上させるように設計。【業務内容】・実施設計・工事監理補助【工事規模・構造】敷地面積x,xxx㎡、延床面積 x,xxx㎡S造、xx建て | 全xx名設備設計 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○オフィスビル電気設備設計 | 規模／役割 |
| 【業務概要】電力量のモニターによる測定で省エネできる電気設備を設計。【業務内容】・実施設計・工事監理補助【工事規模・構造】敷地面積x,xxx㎡、延床面積 x,xxx㎡RC造、xx建て | 全xx名設備設計 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ ○○オフィスビル建設工事 | 規模／役割 |
| 【業務概要】○○オフィスビルの建設で、現場係員として工程管理を担当。【業務内容】・工程、予算管理【工事規模・構造】敷地面積x,xxx㎡、延床面積 x,xxx㎡RC造、xx建て | 全x名現場係員 |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| 普通自動車第一種運転免許 | 20xx年xx月取得 |
| 1級建築士 | 20xx年xx月取得 |
| 設備設計1級建築士 | 20xx年xx月取得 |
| 電気工事施工管理技士 | 20xx年xx月取得 |

■PCスキル

|  |  |
| --- | --- |
| Word | 書式設定、表の挿入、社内打ち合わせ用の資料作成が可能なレベル |
| Excel | IF関数、ピボットテーブルの使用が可能なレベル |
| PowerPoint | レイアウト図の作成、新規資料作成が可能なレベル |

■自己PR

＜関係各所との円滑な折衝＞

設備設計にあたっては、意匠設計や構造設計の担当者と打ち合わせを重ね、デザインや構造の意図を把握しながら設計しています。図面上できれいに納まるだけでなく、施工時も円滑な工事になるように、施工管理の意見を汲みとることにも尽力。また、各部門との進捗管理を細かく行うことで、突発的なトラブルが発生しても柔軟に対応し、工期内の設計に貢献できています。

＜施主のニーズを汲みとり、満足してもらえる最適な設計を実現＞

○○本社ビルの設備設計では、施主のヒアリングから担当。予算やデザインに関する要望をもとに、最適な設備設計が進められるよう施主との密な連絡を心掛けています。施工開始後は現場へ通い、施工管理担当者と進捗確認をしながら、正しい施工ができているかを細かく確認。結果として、施主と初期の提案時に合意した内容からギャップを発生させることなく施工を進めることに貢献しました。

以上